

水道事業の今年度予算

収益的収入及び支出 (単位 千円)			
収入	科目	金額	備考
営業収益	給水収益	418,904	水道料金収入
	受託給水工事収益	39,281	受託工事収入、修繕料
	その他営業収益	16,084	手数料、加入金収入
	受取利息及び配当金	1,038	
営業外収益	雑収益	1,500	不用品売却
	雑入金	3,564	一般会計負担
	計	480,371	

支出 (単位 千円)			
区分	科目	金額	備考
営業費用	原水及び浄水費	118,549	取水、浄水、配水池の費用
	配水及び給水費	68,646	送配水管、水量器の維持費用
	受託給水工事費	43,438	受託工事費用
	業務費	23,725	料金徴収の費用
	総係費	32,639	庶務、会計の費用
	減価償却費	69,767	固定資産の償却
	資産減耗費	5,550	固定資産除却費
	その他の営業費用	10	
	支払利息	143,506	
	繰延勘定償却費	834	退職手当金の償却費
営業外費用	予備費	10,284	
	計	516,948	

差引損失額 36,577(赤字)

資本的収入及び支出			
収入	科目	金額	備考
企業債	債	430,000	拡張工事の借入金
	補助金	16,000	排水処理施設補助金
	計	446,000	

支出			
区分	科目	金額	備考
建設改良費	拡張工事費	456,188	第5次拡張工事費用
	浄水施設費	1,500	浄水場、配水池の改良費用
	給配水施設費	18,110	配水管などの敷設替えの費用
	備品購入費	3,400	
企業債償還金	償還金	40,146	企業債元金返済
	計	519,344	

多額の赤字にならないように手当てすることが最もよい経営とされているが、これらについても水道事業審議会に十分な検討をお願いしています。

以上のように、五十二年水道事業は楽観できない状態です。

お買物、ご用命は市内で

表具
鈴木一心堂
一級技能士 法政大学建築工事部 本町3-2-2035
訓練指導員 建築業 金銭

水づくりに力

水道局の去年のしごと

今年度は昨年度に引き続いて、水圧不足解消のため、小合、荻川地区の配水管幹線の敷設替えを行います。また配水量確保のために高速沈澱池、急速ろ過池を建設し、水質汚濁防止法による排水処理施設建設の二年目に取組みます。

浄・配水能力をアップ

進めざるを得ない施設の整備

- 配水管にも力を入れて
- 配水管敷設工事
 - ▼古田・小戸下組線（鑄鉄管 三〇〇mm）：一、六七〇m
 - ▼北上・結線（鑄鉄管二〇〇mm）：一、四〇〇m
 - 石綿管敷設替え工事
 - ▼七日町地内（ビニール管七五mm）：三〇〇m
 - ▼北上新田・北海線（ビニール管七五mm）：七五〇m
 - ▼田家三丁目地内（ビニール管七五mm）：二二〇m
 - ▼柄目木地内（鋼管五〇mm）：一八〇m

今後に残る「財政危機」

五十二年予算は別表のと

1立方に当たりの原価と売値					
昭和51年度					
水道料金					
支払利息	人件費	減価償却費	動力費	薬品費	その他
19円85銭	19円34銭	46銭	11円	14銭	
販売単価 70円58銭 5円58銭 2円56銭					
給水原価 68円93銭					
昭和52年度					
水道料金					
支払利息	人件費	減価償却費	動力費	薬品費	その他
24円32銭	21円107銭	11円82銭	11円	21銭	
販売単価 71円00銭 給水原価 80円25銭					
★販売単価 現行料金に基づき（10m ³ まで）1m ³ 当り59円と超過料金1m ³ 当り80円となっておりますので全使用水から計算しますと表の販売単価になります。					

ガス大型湯沸器・ガス風呂釜「さわやかセール」
期間 6月1日～8月20日
○定価の15%割引・割賦は定価の6回、12回払
この機会にどうぞお買求め下さい
ご相談は
✓越後天然ガス(株)へ TEL 4-2171

んぼうします

とと今年のしごと

昭和51年度の経理状況（決算見込み） 収益的収入および支出

収入 (単位 千円)			
区分	科目	決算見込み額	
営業収益	給水収益	416,887	
	受託給水工事収益	40,246	
	その他営業収益	17,472	
	受取利息及び配当金	921	
営業外収益	雑収益	1,214	
	雑入金	10,660	
	繰越利益	15,583	
前年度	繰越利益	502,983	
	計		

支出 (単位 千円)			
区分	科目	決算見込み額	
営業費用	原水及び浄水費	109,927	
	配水及び給水費	60,540	
	受託給水工事費	42,296	
	業務費	20,802	
	総係費	27,764	
	減価償却費	61,801	
	資産減耗費	8,199	
	支払利息	117,252	
	繰延勘定償却費	833	
	減価償却費	2,700	
営業外費用	建設改良積立金	10,284	
	退職給与積立金	11,521	
	計	473,919	
翌年度繰越額 29,064(黒字)			

資本的収入および支出

収入		決算見込み額
企業債	債	284,000
補助金	金	6,794
計		290,794

支出			
区分	科目	決算見込み額	
建設改良費	拡張工事費	293,196	
	浄水施設費	799	
	給配水施設費	14,102	
	備品購入費	2,996	
企業債償還金	償還金	39,210	
	計	350,303	

急速ろ過池の編成（四千立方メートル）二池の建設と、排水処理施設の第二年度目として排水池（二百一十五立方メートル）を一池建設しました。

秋葉山に配水池を増設
配水池（P・Cタンク四千立方メートル）一池を建設し、方メートル）一池を建設し、

第五次拡張計画の配水施設開係は終わりました。

水圧解消に配管延長
水圧不足解消のために、継続的に小合、新関、荻川地区方面に総延長約七千七百メートルの敷設工事を行いました。

支出面では、四月から配水管などの修繕を委託し、前年度に引き続いて職員を四名減員しました（二年間で十名減員）。また水道料金の隔月徴収化により、六百七十二万七千円の節減することができました。

「計画どおり事業も消化」
水道局は、五十二年度中、財政計画にもつづいた第五次拡張計画を引き続いて進めました。

整備すすめた浄水施設
急速ろ過池の編成（四千立方メートル）二池の建設と、排水処理施設の第二年度目として排水池（二百一十五立方メートル）を一池建設しました。

企業努力で増収はかる
五十二年度は、前年度に引き続いて水道事業の体質改善と財政健全化に重点をおき、計画通り実施しました。

昭和五十一年度
■収支差引利益額
三千七百九十八万六千円
■前年度繰越利益
一千五百五十八万三千円

お買物、ご用命は市内で

内科・小児科・レントゲン科
電話番号が変わりました
大坂医院
新町1丁目6-12 TEL(4)5122
旧(2)1731
新(4)5122